

アジアに新しい流れを

ASIAN COMMUNITY CENTER 21 NEWS LETTER

ハイライト

【日韓みらい】 「フォーラム」で 若者4名が学びを発表

4月9日開催の「フォーラム」では若者4名が学習会、語り場活動に参加し、学んだことを発表し、リソースパーソンや他の参加者と意見交換を行いました。

本ページ下へ

【フィリピン】 12人がプロジェクト 修了、新年度スタート

路上で暮らす若者の自立支援プロジェクトでは、3月末に修了式を行い、12人がプロジェクトを修了しました。4月以降、新たに約15名の研修生を迎え、新年度の活動を始めます。

裏面上へ

【インドネシア】 インドネシア企業連携 事業の第2フェーズ終了

パナソニックとの協力で、西カリマンタン産のモリンガの粉末、ブレンドティー、ハチミツの製品パッケージの情報拡散と市場開拓支援を行いました。

裏面下へ



日韓みらい若者支援事業「フォーラム」にお集まりいただいた皆さん（2022年4月）

学習会・語り場 成果発表 「フォーラム」を開催

【日韓みらい若者支援】 ※（特活）Asia Commons 垂洲市民之道との共同事業

2019年11月に開始した「日韓みらい若者支援事業」では、2022年3月までに、『日韓関係ダイレクトリー』の発行・普及、「学習会」7回、3テーマの「語り場」活動を行いました。

2021年度の活動の成果発表を行い、過去の参加者、日韓関係団体、その他関心をもつ人たちが交流し、今後を展望することを目的として、「フォーラム」を4月9日（土）に開催し、韓国の方、在日コリアンの方を含め約40名が参加しました（オンライン開催）。当日は、現役の大学生・大学院生4名（うち韓国留学中の学生2名）が、それぞれ参加した学習会や語り場で学んだこと、問題意識・課題として感じたことなどについて発表しました。

《発表者が参加した学習会・語り場》

「孫基禎の生き方から学ぶ」「スポーツは国境を越えて」
「韓国の歴史教科書」「日本と朝鮮半島の文化的つながり」
「韓国の市民活動」

そして、日本人と韓国人の問題意識の差、故郷での知る機会の少なさ、ヘイトスピーチに対する日本人の認識の大きな差など、実生活での体験や感じたことなども率直に語ってくれました。

その後、講師をつとめられた4名の方にリソースパーソンとしてコメントをいただきました。他の参加者からは「日韓がお互い歩みよろうと努力してきた姿をまざまざと感じ、大変勉強になった」といったお声がありました。

新年度も心新たに、日韓関係の未来を志向する若い人材育成とネットワークづくりを進めていきます。



修了式の様子 (2022年3月)

12人がプロジェクトを修了、 新名称で新年度スタート

【フィリピン】

フィリピンの路上で暮らす若者の自立支援プロジェクトでは、3月30日に前年度後期の修了式を行い、12人がプロジェクトを修了しました。4月以降、新たに約15人の若者を研修生に迎え、新年度の活動を始めます。

本事業では、これまで「Street Youth Empowerment Project (日本語名と同意)」という英語名を使ってきました。この事業名は、支援する私たちにとってはわかりやすいものですが、若者たちにとって誇らしいものでしょうか？そんな問題意識から、ACC21からパートナー団体のチャイルドホープに働きかけて、新しい名称を模索してきました。そして今回、プロジェクトに参加する若者たちとの話し合いも経て、「Project Bamboo」という名称に決まりました！Bambooの意味は“竹”（現地言葉でKawayan）。日本とフィリピンの両国で親しまれるこの植物には、日本では成長、フィリピンではしなやかな強さ・回復といった意味があります。本プロジェクトと共通する価値観が表れていることから、採用されました。新年度の若者たちが、竹のようにしなやかに強く、成長してゆけるように、支援していきます。

《4月12日》 ストリートチルドレンの ための国際デーに寄せて

「ストリートチルドレンのための国際デー」に寄せた代表理事・伊藤からのメッセージです。ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/UrNLPirt8a0>



プロジェクトに参加する若者たちが自らビジネスを起こし、収入を得るための実践的な学びの場として、「生計活動フェア」を開催しました。来場客に、自分たちが作った様々な商品（飲食品、衣類、雑貨など）を販売しました。(2022年3月)

パナソニックとのコラボで開発された製品詰め合わせ。同社現地法人のInstagramでもご覧ください！

@panasoniccookingid

ほかにも製品開発ストーリー等のショート・フィルムがあります。詳しくは下記のリンクから！

<https://acc21.org/news20220426/>

Panasonic、インドネシア NGOとの連携第2フェーズ終了

【インドネシア】

ACC21が仲介の役割を果たすパナソニック、インドネシアYDDとの三者連携事業「西カリマンタン辺境地域での太陽光発電利用と生計活動のモデルづくり」第2フェーズが終了しました。西カリマンタンにも新型コロナウイルスの影響が及びましたが、これまでに、有機肥料59.3トン、モリンガ葉（原料）2トン、森のハチミツ300kgを生産・半加工し、最終加工とマーケティング活動をジャワ島のYDD本部で行うことで生産-販売システムを確立しました。そして2021年度は市場開拓に力を入れ、パナソニック現地法人の協力を得て、製品パッケージの情報拡散や認知度向上に取り組みました。

ご寄付のお願い

ACC21の活動は、皆さまからの寄付や会費によって支えられています。ACC21へのご寄付・賛助会費は、税制上の優遇措置の対象となります。

ご寄付・会費のお振込先

《ゆうちょ銀行》

口座番号：00160-6-718320

特非) アジア・コミュニティ・

センター21

《みずほ銀行 駒込支店(559)》

普通口座：1120451

特非) アジア・コミュニティ・

センター21

《クレジットカード》

<https://acc21.org/donation/>



※銀行振込の場合はご寄付者さまのお名前とご住所をお知らせください（メール：kifu@acc21.org、電話：03-3945-2615）